□には、リンクがあります。※は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名	グループホーム　さくらんぼ
日付	平成19年1月15日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	① 介護支援専門員・栄養士・介護福祉士 ② 訪問介護員2級

自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）

評価項目内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）

事業者のコメントを見る
(評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります)　※

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

・理念の下、施設長と職員が協働でより良いサービス提供に取り組んでおり、家庭的な温かさが感じられる。

・管理者が看護師ということもあり、日常の介護も医療的な質の高いサービスが提供できる。

・栄養面への取り組みも行っており、病歴や健康状態に合わせた食事の提供が行われている。

・多種多様なボランティア（ピアノ･フルート・大正琴・トールペイント･手品など・・）の訪問が残存機能の低下防止や生活の活性化など様々な意欲に繋がっている。

特に改善の余地があると思われる点

・外部への研修・勉強会・各関係機関との交流など積極的に参加されることを期待します。

・地域との連帯と交流促進に一層の努力を期待します。

Ⅰ　運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		

「家庭的な温かさと愛を持って信頼を築く」を基本理念として　入居者一人ひとりが自分らしく安心した生活が送れるホームをめざしている。

Ⅱ　生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり	○	
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	○	
4	建物の外周りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場つくりとして取り組んでいるものは何か。		

入居者一人ひとりの生活習慣に合わせた支援と季節感を取り入れた日常生活を心がけている。

Ⅲ　ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

Ⅲ　ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人の力と経験の尊重やﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰ保護の為取り組んでいるものは何か。		

日々の暮らしの中でプライバシーに配慮した支援が行われており、四季折々の催しなどに入居者一人ひとりの得意な事を取り入れながら生活暦を尊重した取り組みが行われている。

Ⅳ　運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		

日々入居者一人ひとりに合ったケアと家族の要望に応えられるケアを心がけている。問題の発生に際しては日頃から要因と改善に取り組んでいる。

このPDFは pdfFactory 試用版で作成されました www.nsd.co.jp/share/